

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

グンゼ株式会社（証券コード:3002）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

■格付事由

- インナーウェアの国内大手メーカー。高付加価値製品を強みとしており、紳士用インナーウェアや婦人用レッグウェアでトップシェアを維持している。これらアパレル事業の他、プラスチックフィルムやエンジニアリングプラスチック（エンブラ）、電子部品、メディカルなどの機能ソリューション事業を展開している。また、ライフクリエイト事業では工場跡地を活用したショッピングセンター運営や不動産賃貸、スポーツクラブ運営を手掛けており、事業領域は多岐にわたっている。
- 足元の業績は弱含みで推移しているが、主力製品の市場地位や競争力などは高く、事業基盤に大きな変化は生じていない。営業利益は12/3期をボトムに増益基調にあったものの、新型コロナウイルス感染拡大により、業績には下押し圧力がかかっている。ただ、収益源の分散も効いており、当面、底堅く利益を確保できるとみられる。財務内容は良好で、今後も健全性が低下する懸念は小さい。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 21/3期会社計画では営業利益45億円（前期比33.3%減）と減益を予想する。スポーツクラブやショッピングセンターの休業や営業時間短縮の影響を受けて、ライフクリエイト事業の減収が見込まれる。また、テレワークの増加を受け、オフィス向けOA製品の需要減少もマイナス要因になるとみられる。ただ、紳士向け製品や食品向け包装用フィルムなどが堅調に推移しており、これらが業績を下支えする見通し。今後、成長戦略として注力しているメディカルの収益拡大などで業績を早期に反転させることができるかに注目していく。
- 21/3期第2四半期末のネットDERは0.14倍（20/3期末0.15倍）と、財務構成は安定している。自己資本は1,100億円前後で横這いとなっているが、積極的な株主還元を行っていることが背景にある。21/3期の設備投資額は106億円（20/3期53億円）と、前期を大幅に上回る投資が予定されている。前期からの繰り越し案件を含むエンブラの工場増設やプラスチックフィルムの生産設備増強などが要因である。ただ、安定したキャッシュフロー創出力を背景に、今後も財務諸指標は良好な水準を維持できると考えられる。

（担当）藤田 剛志・金井 舞

■格付対象

発行体：グンゼ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	300億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年11月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) グンゼ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル